



第六號



# 官許琵琶湖新聞

定價三錢五厘

明治六年第四月

西垣文庫  
文庫10  
7374  
6





緒言

新聞ノ徳タルヤ大ナリ内知見ヲ闢キ外事業ヲ施シ  
不知不識文明ノ域ニ進ミ開化ノ室ニ入り上下言路  
ヲ通ジ勸懲善惡ヲ判ス故ニ  
官許シテ天下ニ公ニスル所以ナリ庶幾ハ四方ノ君  
子上公裁ヨリ下俚言ニ至ルマデ縷々記載シ吾社ニ  
投入シ玉ハンコヲ是今日ノ必務ニシテ開明ノ徳ニ  
報スル所以ナリト爾云

西垣文庫

琵琶湖新聞第六號

神祇祭祀

ハ誠敬ヲ盡シ

尊崇スベキハ勿論ナリ

旧来

市村別日ヲ以テ神事トセシガ曾テ冗費ヲ省キ有用

ニ給スル告諭アリシヨリ栗太郡第八區ハ四月七日

神武天皇祭日ヲ以テ区内同日祭祀ニ協議シ伺ヒ濟

ニナリ續イテ大津町ヲ始メ郡村各區ノ神事同日ヲ

用ヒ或ハ四月一日ナルモアリ從來彼此ニ招客シ徒

ニ金錢ヲ費ス旧習ヲ改メシハ感賞スベシ是則郡邑

區々ノ人心一和シテ神慮モ歡悦マシマスナラン

琵琶湖新聞

第六編



○方今ノ形勢ヲ案ズルニ廣ク學校ヲ建設スルハ誠  
ニ四民ノ大幸之ニ過グ可カラズ然ルニ身本慥カニ  
シテ相應ノ家産アルモノ金錢ヲ貯フルヲ知リテ  
子孫ヲ教ユルヲ知ラズ只眼前ノ愛ニ溺レ無益ナ  
ル歌舞ヲ教ヘイタヅラニ日月ヲ費スノミナラズ急  
務タル學校ノ教諭ヲ誹謗スル徒少ナカラズ故ニ無  
智文盲ニシテ終ニハ貧究ニ陥リ尚己ガ身ヲ罪セズ  
シテ徒ラニ富强ノ人ヲ羨ミ怨ムヲアリ恥ヲ知ラザ  
ルトヤ言ハン素ヨリ游藝ヲ先トシ學問ヲ後ニスル  
子孫ナレバ其愚昧ニシテ或ハ游惰放蕩ニ流レ累代

ノ家督ヲ一朝ノ煙トナスモ又怪ムニ足ラズ斯ナル  
文明開化ノ御代ニ生レナガラ真正ノ道理ヲシラズ  
我儘放蕩ヲ極メ餘人ノ妨ゲヲナスハ實ニ歎クベキ  
ニアラズヤ自分ノ金錢ヲ費シテ為スヲナレバ一人  
ノ游惰ハ萬民ノ手本トナリ遂ニ世間ノ風俗ヲ乱シ  
學校ノ教ニ背馳スルニ至ラレム故ニ祖先ノ金錢ヲ  
石瓦ノ如ク擲チシハ其禍ヒ一族ノ滅亡ニ止リテ小  
罪ナレドモ風俗ヲ擾スハ其害無數ノ他人ニ及ンデ  
大罪ト謂フベシ因テ今後更ニ舞三味線其他游藝指  
南御差留相成候狀若クハソノ替古スル師弟ヨリ稅



金ヲ取り立學校示續ノ資トナス歟然ルトキハ人民  
遊藝ヲ棄テ、學問ニ歸シ四民一層努力シ報國ノ心  
ヲ抱キ一身一家獨立シ各其職分ヲ盡シ物事ノ理ヲ  
知リ文明ノ風ニ赴クハ學校建設ノ御趣意ニモ叶ヒ  
庶民ノ徳モ亦廣大ナラン歟 右投書

滋賀郡大津中保町

長尾滝藏  
當二十九

其方儀昨申年八月中尾花川近邊ニテ鉄砲ヲ以テ鳩  
等打取り且觀音寺町浦手ニ於テ藻屑ヲ集メ的場ヲ  
設ケ猥リニ發砲イタシ候始末不束ニ付杖六十可申

付之處其事情モ有之候ニ付贖罪金四兩二分言納申  
付候事

明治六年一月廿日

滋賀縣令松田道之

高嶋郡海津中小路町

江端庄三郎

藪田善右衛門

右之者共儀大津為替會社ヨリ貸金滯出入出訴ニ及  
ビ吟味ノ上身代限り申付候若右之者共へ掛同様ノ  
願有之者ハ來ル五月十九日マデニ可申出右日限過  
去訴出ルニ於テハ一切取上無之問其旨可相心得事  
右揭示スル者也



明治六年三月廿一日

滋賀縣令松田道之代理

滋賀縣參事榊原豊

滋賀縣權參事籠手由安定

淺井郡留目村

小嶋藤九郎

右前同斷ニ付来ル五月廿六日マデニ可申出

余ハ前同文

明治六年三月廿七日

神崎郡横井村

中谷佐平次

中谷喜代藏

右之者共蒲生郡石塔村村田半兵衛ヨリ貸金滞云々

前同斷ニ付来ル五月二十九日マデニ可申出

余ハ前同文

明治六年三月三十日

栗太郡六地藏村

鳴林傳助

右之者儀同郡出庭村國松喜左衛門ヨリ貸金滞前同

斷ニ付来ル五月廿九日マデニ可申出

余ハ前同文

明治六年三月三十一日

淺井郡富田村

前田喜兵衛

右之者儀大津為替會社ヨリ貸金滞前同斷ニ付来ル

六月二日マデニ可申出

余ハ前同文

明治六年四月四日

栗太郡下笠村

長谷川六兵衛



右之者儀滋賀郡栗津村田原園右衛門ヨリ貸金滞前  
同斷ニ付来ル六月六日マデニ可申出余ハ前同文

明治六年四月八日

滋賀縣令松田道之代理

右揭示スル者也

滋賀縣參事榊原豊

滋賀縣權參事籠手田安定

右庶々御達ニ依テ廣告ス

○旧大泉藩士新縣以来郡縣ノ政體ヲ體認シ一藩奮  
勵自營自修ノ恒産ヲ建シテ欲シ戮力同心自カヲ  
以テ不毛荒蕪ノ曠野ヲ開拓シ農桑ノ業ヲ起スヲ傍  
觀シ酒田縣為換方小野善助代理村井定吉永浦正助  
ノ兩名ヨリ桑蚕ノ業ヲ贊翼セン為メ左ノ通縣廳ヘ

出願セリ

御維新以降追々開明ノ機ニ際會シ專ラ海外ト交際  
ヲ御更張富國ノ基礎ヲ舉サセラレ海内一般荒蕪ノ  
地ヲ開拓各地方物産ヲ開キ利用厚生ノ朝旨ヲ遵  
奉スルニ皇國ノ物産中養蚕ヲ以テ最第一ノ物産  
ト愚考仕候折柄昨年来御營内ニ於テ荒蕪地開拓專  
ラ農業ニ從事養蚕ヲ御施行ノ御目的ニテ官員方及  
ビ貫屬方共奮勵自耕ノ舉目擊仕感激ニ堪ヘズ私共  
素ヨリ報國ノ御用相勉度志願ニテ三府ハ勿論諸國  
ヘ支店ヲ置キ就中養蚕盛業御國益更張ノ志願ニ付



右開拓ノ貫属方へ來由三万本差上度ト云々

右願意聞届格別報國厚志ノ段奇特ニ付御賞有之

度吉二月十七日書附ヲ以テ同縣ヨリ大藏省へ報

告ニナレリ

○世ニ晏起家ト云アリ其數ヲ知ラズ夜間ハ神氣充

盈シテイタツラニ燭ヲ耀シ閑話戲談ニ時間ヲ費ス

ノミナラス貪黷淫嫖ノ言ヨリ或ハ登樓ノ約ヲ結ビ

賭博ノ媒ヲ成シ且日ニハ却テ精神減耗シ太陽ノ枕

席ニ照臨スルヲモ知ラズ豈惰弱ノ甚ダシキナラズ

ヤ夫レ鶏ノ曉ヲ報ゼシヨリ群動ノ歡声喜色ヲ呈シ

草木ノ生氣ヲ帶ルモ皆昧且ニシテ所謂一日ノ正氣

ハ晨ニアリトナン苟クモ人トシテ飛潛動植ニモ劣

リ鶏鳴而起孳々為善ノ古訓ヲ忘ル可ケンヤ實ニ夙

起スレバ氣力奮迅シテ思慮正シキヲ得テ日用有益

ノ事業ヲ成スニ足ル晏眠スレバ之ニ反シテ正氣ヲ

失ヒ一心恍惚トシテ身體怠惰ニ陥リ萬事瓦壊スル

ニ至ル其根基ヲ探ルニ遊惰ニシテ或ハ宴樂ニ耽リ

或ハ淫慾ヲ肆ニセシヨリ惡癖ヲ成スナリ斯ク知識

進步ノ時ニ當ツテ尚此痼疾ヲ餘ス輩アルハ上下

精スル朝吉ニ反セリ嗚呼眼光月ノ如ク夜學ニ



苦スルモ尚起臥ノ度ヲ誤ルベカラズ況ヤ酒色ニ於  
テヲヤ 右投書

紀者曰西國ニハ總ジテ時間ヲ以テ事業ヲ課ス故  
ニ飲食寢寐ハ勿論閨房マデモ時刻ヲ定ムト是レ  
攝生ノ為ノミニアラズ心性ヲ正フスル基ヒナリ  
我國風自守ノ操ニ乏シ長歎ヲ發スベシ有志者規  
矩ニ循ヒ性靈ヲ保チ知識ヲ研キナバ豈啻一身ノ  
健固ナルノミナランヤ即報國ノ端緒トモナルベ  
シ斯ク唱フル僕ガ輩モ晏起ヲ好ミテ今ヤ其前非  
ヲ悔ヒ敢テ同癖者ニ告テ俱ニ睡魔ヲ驅ンコトヲ

冀フ

○方今御政體日新文明ノ盛際ニ當ツテ如何ナル僻  
邑トイヘ戸長副戸長ト号スルハ人民ノ頭役ナル  
ベキニ多クハ無智文盲ニテ顯然タル御布告ノ教諭  
ヲモ了解シ得ザル者ヲ家宅ヲ見立テ殷富ニシテ餘  
暇サヘアレバ誣テ其役儀ヲ命ズルハ不都合ノ至リ  
ナリ所謂是ハ守錢奴ニシテカツテ人民ノ長タル任  
ニアラズ斯ク盛世ニ至リテハ貧富ノ差別ナク御政  
體ヲ遵奉シ事物ノ理ニ明ラカナル才力アル者ヲ人  
選有リ度キナリ 右蒲生郡某ノ投書



○日新真事誌抄出

朽木縣管下キニシ機職村山泰助外一人羅紗ラシヤ機工キコウ傳習生デンシユセイ  
撰舉ノ儀ニ付建言ハタガリ

草莽ノ臣村山泰助昧死再拜謹白ス側ニ聞ク頃者  
朝廷普ク其人ヲ撰ンデ歐洲ニ遣ハシ泰西ノ機織ヲ  
學バシムト云々是レ皇國養蚕漆器ノ精妙海外ハ  
固ヨリ彼ニ譲ラザルヲ得ザル故ナリ今朝廷其人  
ヲ撰ブニ果シテ之ヲ士ニ取ル乎農ニ取ル乎抑又コ  
レヲ洋學生ニ取ル乎臣ヲ以テ之ヲ視ルニ嘗テ其ノ  
機術ヲ解スル者ニ取ラバ其成功易クシニ且速カナ

ラン欽今夫レ臣ガ郷機織ヲ以テ皇國ニ名アリ其  
術ニ熟達スル者少ナシトハタガリ為サズ若シ此中有志ノ者  
ヲ擇ンデ彼ノ機術ヲ學バシメバ其業必ズ速カニ成  
ラン欽臣固ヨリ愚癡朦昧天敏ノ資ニ乏シトイヘ  
嘗テ機術ノ一緒ヲ知レリ是ニ於テ乎忌憚ヲ忘レ敢  
テ腐言ヲ進ム惟其說或ハ取ルベキアラバ則チ幸ニ  
之ヲ採擇セヨ誠惶謹言トリモモモ

明治六年三月

本院ノ議 文簡ニシテ意達シ又採ルベキ有ルニ似  
タリ依テ工部省ヘ廻ス 以上左院録事



○本月十七日午後第二時頃雷鳴二發續テ北風烈ク  
凍雪降ル此前後兩三日頗ル寒風氣候順ナラズ

### 引札

中仙道愛知川驛ニ於テ去ル辛未八月十五日ヨリ毎  
月五十ヲ定日トシテ市店ヲ開キ今日ニ至リ追々繁  
榮ニ及ベリ猶此上諸商輻輳ヲ乞ヒ群客來臨ヲ祈リ  
益盛場トナランヲ偏ニ希フ所也

江州神崎郡愛知川驛

市中

### 琵琶湖新聞第六號終

伏テ四方ノ君子ニ敬白ス既ニ官許ヲ蒙リ局ヲ開キ新聞ヲ刊行シ  
邑僻限マテモ遠近日新ノ景況ヲ告ゲ俱ニ開化文明ノ域ニ進マン  
ヲ希望ス雖然耳目ノ届ガザル多シ願クハ小大トナク事實書綴リ本  
局又ハ所々出局取次所等へ出シ玉ヘ次第ニ出版致スベシ但遠路ハ殊  
ニ報知ヲ希フ其書付ニハ何レモ其住所姓名ヲ載セ玉ヘ無名ノ書ハ敢  
テ採入セズ無根ノ浮言造説アルヲ恐ル

### 總テ望ニヨツテ出版スル事件大略

○諸會社ニテ取扱ノ品々出入數量○物價ノ高低○新規發明ノ器械  
○諸開店ノ披露○田園山林家邸舟車等ノ賣買貸借○失物尋物  
○觀セ物集會等ノ披露○諸藝私塾開業ノ披露○諸產物家具食品藥劑  
等一切ノ賣買○金銀貸借  
右ノ外總テ世間ニ弘メ人ニ知ラシメントノ事情ハ何レモ一行廿二字  
價三錢ニテ引受出版致スベシ



本局

近江國大津船頭町

琵琶湖新聞會社

大津濱通

原田 五郎助

大津京町

伊助

彦根桶屋町

高田 平三

長濱

田邊 耕平

鳥井本

平十郎

八幡町

木村 源造 取

八日市

福原郎左衛門

愛知川

清次郎

日笠町

上林嘉右衛門次

守山

田中平右衛門

草津

水口驛

伏木八郎兵衛所

本堅田

北村 清十郎

大溝

三矢 治兵衛

石部驛

小嶋金左衛門

海津

金谷 平三郎

賣弘所

